

令和7年度 熊本県立大学 環境共生学部 環境共生学科 食健康環境学専攻
一般選抜試験問題（後期日程）小論文 出題意図

問題Ⅰ

『骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年版』を題材に，骨量減少の性・年齢差，危険因子の特徴を正確に読み取り，骨粗鬆症の発症を予防するために各ライフステージでどのようにアプローチすべきかについて，自ら考えることを求めた問題である。自身の考えを端的かつ論理的に説明できるかを問うものとした。

問題Ⅱ

野菜摂取量は平均で不足しているが，個人差も大きく，350g を摂取できている人は大変少ない。中でも 20 歳代男女の野菜摂取量が少ないことに気付かせ，特に女性は摂食量自体が少ないことも野菜不足の原因にもつながっており，この年代に野菜摂取量を増やす働きかけをすることが必要であることに目を向けさせたい。